

# クナール河の水量さらに減少

PMS 取水堰に大過なし

カマ第二堰 2018年2月1日



カマ第二堰 2018年2月1日



今週は現場の進行について特に詳しい報告はありませんが、雨季にもかかわらず、依然として雨がありません。クナール河は見たことのないような水量減少（おそらく毎秒 100 m<sup>3</sup>前後）になっています。以下、主な各現場の様子です。

1. マルワリード II（コーティ・タラン・ベラ・カチャラ）；主幹水路は完了。カチャラ III 分水路を着工。タラン分水路は 1,350m 中約 850m を工事中。川沿いの植樹（ユーカリ、シーシャム）を開始。ベラ分水路の最終調査。
2. カマ第二堰；水門部周囲の補修を終了し、堰本体の造成に集中して工事が進行。推定 40%が完了。
3. クナール河水位；下がり続け、シギ堰が一時的な措置（河道整備）、マルワリード I 堰が砂吐を閉塞してせきあげが行われた。他の堰は健在。ただしマルワリード I 用水路は、技術的に水門間口の狭さが災いしている。棚上げになっている水門（2004 年建設）の改修計画は治安改善を待ってから行う。**全体としては、PMS 方式の現水門規格で超低水位を乗り切れることが確認されたとして良い。**

#### 今後の事業計画について

治安は当分好転する兆しがなく、一昨年来の異常少雨で干ばつが確実に、かつ容赦なく進行している。今春までに大きな降雨降雪がなければ、2000 年に匹敵する悲劇が起き、それに伴う人口の流動化は政情不安に拍車をかけると予測される。この状態の中で 2020 年までの事業を考えると、短期の工事を取水堰に限定して積み重ねていく方が確実とみられる。「緑の大地計画」域内を隈なく潤すには、当面残された比較的小規模な村落にも灌漑を及ぼすべきである。このため、ゴシュタ（約 250 名）、バルカシコート（約 180 名）、ゴレーク（約 250 名）らの堰建設が検討されてきている。何れもクナール河左岸で、数年前から散発的に調査を行ってきた。カマやカシコートらの仕事を通じて、PMS と地域自治会との絆は深く、工事は可能である。これまで、小規模な村落であるために支援の手が届かなかった所を対象としている。3 月初旬に実地調査を開始、カマ堰再建に連続して 2019 年には複数箇所を実施する予定である。

取水システムの普及については、この情勢の中では急がず、計画地内で残された隣接地域を一つ一つ、地元との十分な協力で進めてゆく。PMS 方式はクナール河流域では施工可能なことが実証されたと思われる。しかし、これに加えて地域の指導層の理解が今後の維持のために不可欠となっている。今春発足する FAO（国連食糧農業機構）との「訓練計画」は、農民指導層、水主、現場監督、施工業者、地方政府内の下部技術者らを対象とし、地域全体の実際的な水問題の理解を目指している。

#### 「緑の大地計画」域内で残された主な地域または事業の概観

- バルカシコート；カシコートより北、ナンガラハル州最北端にあり、クナール州ヌールガル地域の対岸。人口約 2000 名以下。耕地は約 180 名。
- ゴレーク；カチャラ村に隣接し、PMS が手掛けたカシコート堰流域の最終点かつ最大の村落（推定約 250 名、5000 名）。クナール河左岸では唯一のパシャイ族村落。しかし、既存用水路が小さく、十分な水が行き渡らない。PMS では 9.9 km の同カシコート用水路の工事を計画してきたが、治安

の問題で棚上げになっていた。その後の調査で、約 10 kmに及ぶ水路再建より、直接堰を建設した方が時間、コストの面でも効率的との結論である。また、対岸はシギ堰に当たり、両岸から連続堰を成せば、さらに安定した取水と維持が可能だと見ている。

●ゴシュタ；カマ郡の南東部下流の長いベルト地帯。耕地は推定約 250 ㊦。カチャラ村と同様、洪水にさらされやすい地形で村が荒廃してきた。村民の多くがパキスタンに難民として逃れて生活している。2011 年から接触を続けているが、依然として取水が不安定である。残る地域の中で重要地点ではあるが、交通の便が悪く、長期の取り組みが必要。

●タンギトクチャー；ミラーン堰北（河の右岸）にあるベスード郡の取水口。PMS＝JICA 共同事業が計画されていたが、2014 年から巨額をかけ、英国らの出資で工事が行われた。現在まともに機能しなくなっているものの、施工当事者との衝突を避けるため、しばらく手を付けない。

●マルワリード堰水門改修；水門間口が狭く、無理な堰上げになっているので、機を見て行う。

●ガンベリ開拓；柑橘類の大量出荷、水稻栽培、サツマイモの試験栽培らが懸案で、以後テーマをしぼって実現していく。

2,018 年 2 月 3 日 記